

和地ひとみレポート No.130

〇〇シンポジウム

新しい視点が入り、内容も充実 第3回『いじめ防止のためのシンポジウム』

■3回目のシンポジウム

…8月30日午後、中央公民館において『第3回いじめ防止シンポジウム』が開催されました。このシンポジウムは3年前より年に1度開催されています。シンポジウムの内容は、毎回、前半の部では各中学校の生徒会の生徒による各校のいじめ防止の取り組みなどを発表すされ、後半は毎回違った嗜好をこらした内容で開催されています。

…2年前に開催された第1回シンポジウムでは、東大和市職員で『いじめと戦おう』という著者であり、同名のインターネットサイトを運営している玉聞伸啓氏による講演が行われ、それに基づいた内容で生徒たちによるパネルディスカッションが行われました。昨年開催された第2回は市内各中学校の代表生徒1名ずつと、中学校校長会（≒校長先生）、主任児童委員、市P連からの各代表がパネラーとなつての意見発表が行われました。このシンポジウムは入場は自由です。各回ともに150人以上の生徒、保護者、地域の人たちが参加し、いじめ防止の重要性について確認していますが、今年の第3回目のシンポジウムは参加者が意見を交わす場面も多く『多数の者が一つの問題をめぐる議論を交わす集団討議法』＝『シンポジウム』という意味で、さらに内容の濃さがアップしていた良い会でした。

■外から見た新たな視点で

…今年のシンポジウムの第1部では市内各中学校の代表者による「自校、自国の紹介といじめ問題」について発表で、各校が取り組んでいるボランティア、チームワークで取り組む部活や行事の紹介。また、コミュニケーションの重要性を生徒たちが考えることのできる様々な取組や挨拶運動などにより明るい学校づくりを行っていることが発表されました。

その後、今回の企画の「海外の事情からいじめ問題を考える」ということのために、特別ゲストとして招かれた2人の留学生による各国の紹介といじめに関する考え方が発表されました。今回、ゲストとして迎えられたのは、トルコから東京大学大学院に留学されているGYOKAY EKIN CERENさん（以下ギョカイ女史）、メキシコから筑波大学に留学されているFIGUEROA RAFAELさん（以下、フィゲロア氏）の2名で、彼らによるそれぞれの国の紹介やいじめ事情についての発表は、参加した生徒だけでなく、会場の全員が非常に興味深く話を聞くことができました。

…ギョカイ女史の発表では、ヨーロッパとアジアの間にあるトルコという国の位置から、外見の違いや考え方の多様性を受け入れることは自然なこととして身に

付いていること、弱いものをいじめる方が悪いと小さい頃から教えられ、ほとんどの子ども、国民の中に浸透していることが紹介されました。また、ギョカイ女史は中学生の時に仲良しグループから急に仲間はずれにされた体験談を話され、その際に、それほど仲が良くなかったにも関わらず、クラスメイトの多くが「仲間はずれにした方が悪い」と言って、味方になってくれたことを紹介されました。そして、その経験から「いじめをされる人の気持ちを考える。いじめをする人にいじめをやめさせる。日本ではこういう視点でいじめ問題を考えることが多いが、その周りにいる人を傍観者ではなく仲裁者にしていくことをもっと重要視した方が良いと感じている」とおっしゃいました。

…またフィゲロア氏の発表では、他国からの侵略戦争の多かったメキシコの歴史により、自分たち仲間を守る、自分の家族を守るという気持ちがメキシコでは強いという話がでました。また、いじめというより、子ども達の間ではケンカが多く、それを見ている仲間や兄弟は必ず大事になる前に仲裁に入るというのが当たり前だという話も。

…この二人の発表から、今回のシンポジウムでは周りにいる人がなぜ「仲裁者」になれないのかということが大きなテーマとなっていました。

■各国の違いから

…毎回、第2部のパネルディスカッションでは都立東大和高校の男子生徒がコーディネーター役を務めました。パネラーである中学生とゲストの大学生の間の年齢ということもあり、上手に意見を拾いながらパネルディスカッションを進めてくれました。

…今回のパネディスカッションの場では、日本、イギリス、オランダ、各国の学年別『いじめの場の力学』のグラフが示され、それをもとに議論が交わされました。一つ目のグラフは「傍観者の出現率」で、イギリス、オランダともに中学生1、2年生になると傍観者の出現率は減少するのに対し、日本では学年が上に行くほど傍観者が増えるというデータが示され、二つ目のグラフでは「仲裁者の出現率」が示されましたが、これについてもイギリス、オランダともに中学1、2年生になると仲裁に入る人が増えるのに対し、日本では学年が上に行くほど仲裁者が減少するデータが示されました。

（裏面につづく）



…これに対し、中学生の意見は「仲裁することは、次にいじめの対象になるかもしれないから難しい」という本音とも言える意見がでましたが、最後には「今後は先生にも協力してもらって仲裁することを実行していかなければいけないと思う」という意見もでました。

…また、会場からの意見として「仲裁者の出現率のグラフは中学3年生で終わっているが、この先の年齢のデータも確認した方が良い。おそらく日本は、大人になればなるほど仲裁者が少なくなるという現実があると思う。そういうところから、大人が改善、自覚していくことが必要だと思う」という意見も出ました。

■学校だけの問題だけでなく

…今回、示されたグラフを見た中学生からは「今回のグラフを事前に渡されて、各国の違いを調べてみた。イギリスの学校では授業は先生が一方向的に教えるのではなく、生徒たちが自分の意見を述べ合う形で進むから、意見が言えないと授業についていけないということがわかった。自分の意見を言い、他人の意見も聞くという授業の形も、仲裁者の出現率に影響していると感じた」という意見もでました。

…最終的に、今回のシンポジウムでは、学校の子どものみだけの問題ではなく、会場にいた全員が人と人の繋がり、コミュニティのあり方まで考えさせられる内容になったように感じます。

…シンポジウムの最後にパネリスト全員が感想を述べた際、ゲストの二人が「自国の言葉には『いじめ』に該当する単語がない」と言ったことに対して『『いじめ』は日本語だけのものだとわかった』と発言した生徒が。それに対しギョカイ女史が「トルコ、メキシコにはないが、それを一般化して全てだと思うことは良くないこと。何事も一般化してしまうということから、違うものを受け入れられないということに繋がってしまうから、気をつけましょう」と答えたことが印象的でした。

■良い取り組みを活かして

…学校でのいじめを無くす、問題視することは重要なことですが、子どもたちだけではなく、教師、家族、地域の大人たちも関わって解決していかなければならない問題です。

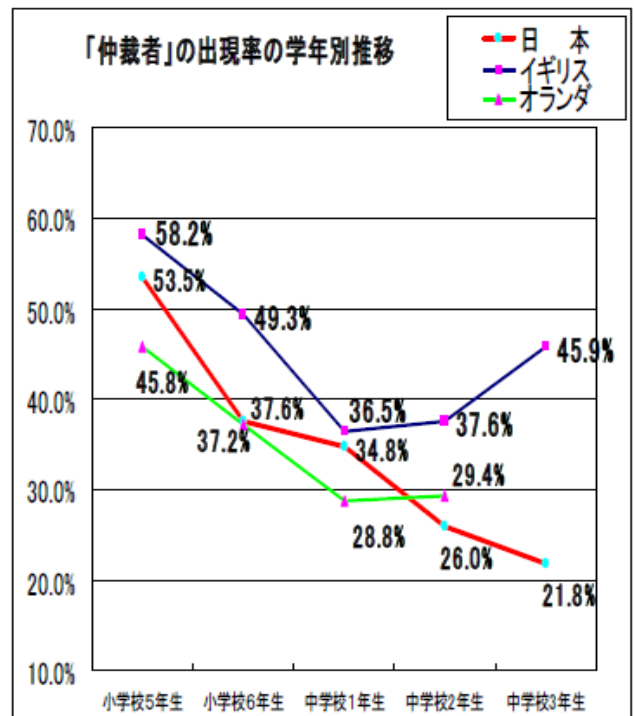
…幸い、東大和市では教育委員会と学校のきめ細やかな取り組みにより、不登校の児童、生徒の出現率は東京都の率を下回るという効果がでている状況で、他の自治体からも参考にしたいと言われています。

しかし、今回のシンポジウムに参加してみて、このような特別な取り組みの他に、改めて日常的な地域の繋がり、大人の言動の重要性を感じました。また、学校教育のあり方についても、自他を認めるという視点で更なる工夫が必要だと思います。

…東大和市に限らず、様々なところで「今の日本では、人々が『個人化』している」と言われています。一方で、各自治体では「協働」が叫ばれ「各地域を良くしていくには市民の協力が必要だ」という新たな「公」「民」のあり方という流れもあります。このギャップを埋めるためには、やはり大人たちも「自己と社会の繋がり」「社会の中の一員＝市民性」を意識していくことが必要なのだと思います。そして、そのような大人意識の変化が、長い目で見たら子ども達のいじめ防止の一助になるのではないかと感じました。

…今回のようなシンポジウムは、ぜひ、継続して欲しい、そして、近い将来には「いじめ防止」というテーマではなく「社会との繋がり」というようなテーマまで発展してもらいたいと思います。

また、この取り組み＝シンポジウムの成果を少しでも教育現場で活かしていくべきだと思います。



市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート

「身近なようで知らなかった市政、議会。伝えることがスタートだと思います。」



東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。／「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク（※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換）に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。／『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後もベンチャー企業を選び不動産投資会社に勤務。／同じビジネス界出身の加藤公一代議士との出会いに触発され、政治への道を志して2010年末に退社。現在、新人東大和市議会議員として、日々、奮闘中。

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>

✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102